

# 平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	女性の再チャレンジ支援プログラム		
事業名	新たなチャレンジのための介護講座		
法人名	学校法人八文字学園		
学校名	水戸総合福祉専門学校		
代表者	理事長 八文字 敏 宏	担当者 連絡先	埜 富美子 029-221-8800
<p>1. 事業の概要</p> <p>少子高齢化が進む中、介護職員の人材不足が大きく取り上げられている。その為に、女性特有の優しさや気配りを兼ね備えた介護職員を育成する講座を開発する。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>介護技術を学ぶだけでなく、福祉における法律やコミュニケーションのとり方、高齢者だけでなく障害者における家族の理解など心理的なものから、医学の基礎知識まで学び、実際に5日間施設実習を体験し、介護職員における知識や実際の職場を体験できて、受講者は介護職の実際を理解してくれたようである。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>福祉だけでなく、医療についても学び、最終的にヘルパー2級を取得したので、今後介護の現場ですぐに働くことができる。</p> <p>③今後の活用</p> <p>テキスト3種類は、今後就職してからも再確認するためには、大切なテキストであり、事例など数多く資料としてあるので、実務ハンドブックとして利用できる。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>現在は、ヘルパー2級を取得していれば十分に介護職員として長く活躍できるとおもいますが、今後この資格がなくなる予定になっているので、介護職員基礎研修を基に講座を行うとよいのではないかと思います。ただし、時間数が多くなり、少なくとも半年は必要かと思えます。それでも、取得したいと思う人が出てきてくれるとよいと思えます。</p>			

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①履修証明書等

講座の時間数・・・130時間、受講者23名、修了書及び資格証のコピーは別紙1にて添付

#### ②カリキュラムの内容

介護講座ということで、ヘルパー2級の資格取得が出来るようにカリキュラムを組んで、対象は25～65歳までの方で講義を進めていきました。講義だけでなく、演習はもちろんのこと、実際に福祉施設において実習を行うことで、介護現場の実際を理解してもらい、座学では、基本を学び、人間対人間の仕事は講義で学ぶことより多くの応用があることを知ってもらう。再就職には、有利な様に受講後ヘルパー2級の資格が取得できるようにした。

#### ③講座の実施

介護職員を育成する講座として行い、平成20年10月1日から11月21日まで講義及び演習を行ない、その後、福祉施設において実習を行う。受講者は、23名で25歳以上の一般社会人(女性のみ)で行う。場所は、講義及び演習においては、水戸総合福祉専門学校において行い、施設実習は再就職しやすいように、受講者の住まいの近くにて行う。2ヶ月の短期間だった為、受講しやすかったようである。家族介護のためという方もいて、質問が多く出た講義内容となった。事例を多く出した講義が多かったので、身近に感じられたようである。

#### ④支援対象者(受講者)の状況

受講後すぐに、福祉施設へ就職した方は2割の方であったが、終了後も学校へ来て求人状況を見ていく方や、再就職に関し相談をされる方もある。介護を学び、今後介護福祉士を取得するために頑張ろうとしている方もいます。一度、講座終了後3ヶ月たったので、受講者の方にその後の様子を連絡を入れています。介護に積極的になっている方が多いです。